

岡山市広報連絡資料





令和7年1月10日

北区地域人権啓発事業 ハートフル映画&講演会を開催します

人権や自分らしく生きることについて、映画と講演から楽しく学びましょう。

1 日 時

令和7年1月25日(土)13時~16時30分(12時より受付開始)

2 場 所

山陽新聞社本社ビル1階 さん太ホール(北区柳町二丁目)

3 内容

地域に密着した人権啓発事業を行い、一人ひとりの人権が大切にされる暮らしやすいまちづくりを進めることを目的として、毎年「地域人権啓発事業」を行っています。今回は北区において映画上映と監督による講演会を行います。(他区の市民も参加できます。)

- ○映画:「ぼけますから、よろしくお願いします。~おかえりお母さん~」
- ○講演:「~認知症の母が命懸けで教えてくれたこと~」
- ○講師:信友 直子さん(上映映画の監督)



4 その他

入場無料、参加申込不要・当日受付先着順、字幕・手話通訳・要約筆記あり 会場に福祉のお店「元気の輪」出店あり

【問い合わせ先】

岡山市 人権推進課 加藤・池本 直通086-803-1070 内線3920・3926

&講演会 トフル映

参加申込不要

字幕、手話通訳、要約筆記あり



映画

ぼけますから よろじくお願いします。 ~おかえりお母さん~

2018年に動員20万人を超える大ヒット作品の続編

東京で働くひとり娘の「私」(監督・ 信友直子) は、広島県呉市に暮らす 90代の両親を1作目完成後も撮り

2018年、母の認知症はさらに進行 し、ついに脳梗塞を発症、入院生活



が始まる。外出時には手押し車が欠かせない父は毎日1時間かけて 母に面会するため足を運ぶ。そんな中、新型コロナウイルスの感染 が世界的に拡大。病院の面会すら困難な状況が訪れるが、それでも 決してあきらめず奮闘する父の姿は娘に美しく映るのだった-

人が生きて老いてゆく先には、必ず死と別れがあります。でも人生 の最終章は悲しいだけではありません。お互いを思いやり、かわす 笑顔もありました。今回もまた、誰もが自分のこととして感じても らえる物語になったと思います。信友直子(監督・撮影・ひとり娘)

講演会

~認知症の母が 命懸けで教えてくれたこと~



のぶ とも なお こ 信 友 直 子 さん

テレビディレクター、映画監督。1961年広島県呉市生まれ、1986 年にテレビ制作会社に入社。ドキュメンタリー番組制作で数々の賞 を受賞。2018年に『ぼけますから、よろしくお願いします。』で長編 監督デビュー。全国99劇場10万人を動員する大ヒットとなる。現在、 くれ観光特使と、呉市総合計画審議会委員も務める。

映画監督である信友監督本人から、大切な人が認知症になった時の 少し気が楽になる上手なつきあい方、看取り体験から、終活や延命 治療、人生会議にかけての話を実体験から語っていただきます。

日時

令和7年1月25日 ↔

13時から16時30分まで (12時00分より受付開始)

山陽新聞社本社ビル1階 さん太ホール(岡山市北区柳町二丁目1-1)

- ・入場は当日受付、先着順です。会場の定員(278人)を超えるときは入 場をおことわりする場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・マスクの着用にご協力ください。
- ・日程・内容については、諸般の事情により変更となる場合があります。



公共交通機関のご案内

・JR岡山駅より徒歩15分(市役所筋を南へ下る) ・JR岡山駅より路線バスにて「山陽新聞社前」下車すぐ

プログラム(予定)

- 開 13:00~ ● 映画上映 13:10~ ● 休 憩 14:51~ ●講 15:05~
- 슺 16:05~

ふれあい交流ショップ

福祉関係のお店が素敵なグッズや お菓子などを販売します。

主催 岡山市・岡山市教育委員会

後援 岡山県

協賛

岡山人権啓発活動地域ネットワーク協議会

岡山市 市民協働局 人権推進課

電話 ▶ 086-803-1070 (直通) ファクス ▶ 086-225-1699 Eメール ▶ jinkensuishin@city.okayama.lg.jp